

1 令和6年度埼玉県学力・学習状況調査の結果

「埼玉県学力・学習状況調査」とは

- ・学力の伸び（経年変化）などを、継続して把握することのできる調査。
- ・小学校第4学年から中学校第3学年まで、同一の児童生徒を継続して調査し、学力の伸びを把握することができる。

（1）学力を伸ばした生徒の割合（％）

		R06 国語	R06 数学	R06 英語	R05 国語	R05 数学	R05 英語		
1年	本校	59.0	52.5	\	66.2	54.5	\		
	県平均	54.6	51.1		60.5	58.9			
2年	本校	50.3	66.0		37.9	59.7			
	県平均	52.9	73.1		58.8	62.6			
3年	本校	74.8	60.1		74.3	61.2		57.8	78.8
	県平均	66.7	48.1		73.9	55.6		65.2	68.7

（2）質問紙調査の結果

02「規律ある態度」達成目標 参照

2 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

「全国学力・学習状況調査」とは

- ・義務教育の機会均等とその水準維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教科施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するために実施。
- ・調査対象は、小学校第6学年及び中学校第3学年。

（1）平均正答率（％）

	R06 国語	R06 数学	R06 英語	R05 国語	R05 数学	R05 英語
本校	55	51	\	69	53	51
埼玉県（公立）	59	53		71	52	46
全国（公立）	58.1	52.5		70	51	46

（2）質問紙調査

03 全国学調生徒質問紙 参照

3 学力・学習状況調査の分析

県学調の結果より、特に学力の伸びた学年・教科は、3年国語（74.8％）であった。また、県平均と比較して一番伸びた教科は3年生数学（60.1）であった。

※県平均と比較すると3年生国語は+8.1ポイントで3年生数学は+12ポイント。

主な要因として、3年生数学の伸びは、授業内で基本的な問題を繰り返し行うことで、基礎的な知識の定着を図った。その基礎的な知識を活用することで、学力が伸びたと考えられる。

3年生国語では、毎時間の授業で単元の課題や目標を提示することで、生徒に授業の見通しを持たせた。また、問題を解く中で思考を繰り返し、失敗を繰り返す過程で、正解にたどり着くような課題設定を行った。

4 結果の分析を踏まえた本校学力向上の取組

04 学力向上プラン参照